

宮崎 善郎 研究室（特別支援実践学・視覚障害教育）

特別支援教育に関心のあるみなさんを応援します

障害のある幼児・児童・生徒の学びを支えたい、特別支援教育学校などの教員になりたいと考える方が、岡山大学において学びを深めるお手伝いをします。また、視覚障害教育をはじめ、特別支援教育に携わる方へのお手伝いをします。



自己紹介

視覚特別支援学校の教員を長くつとめてきました。その中で、障害のある幼児・児童・生徒の学びを支える実践や、その根拠となる理論について考えてきました。視覚活用が困難な児童に対する指導方法の研究、障害のある幼児・児童・生徒の視機能評価に関する研究、特別支援教育の視点からの授業づくりについて研究を行っています。

専門分野・研究テーマ

- ① 視覚障害指導法に関する研究: 視覚に障害のある幼児・児童の概念形成を中心に、視覚に障害のある幼児・児童の指導方法に関する検討をしています。
- ② 障害のある幼児・児童・生徒の視機能評価に関する研究: 障害のある幼児・児童・生徒の学びを支えるために、視機能を正しく評価する方法やそのあり方について検討をしています。
- ③ 特別支援教育の視点からの授業づくり: 「見る」ことを大切にされた支援のあり方を考え、どの子にとってもわかりやすい授業づくりやクラスづくりについて検討をしています。

学生へのメッセージ

「見る」ことは行動を支える重要な手がかりです。障害のある幼児・児童・生徒の「見る」力を適切に評価すれば、視覚的な支援がより有効的な支援方法となります。言い換えれば、「見る」力の評価が十分なされないままに視覚的な支援が行われても、障害のある幼児・児童・生徒への支援として十分な効果をもたらすことができないことも考えられます。幼児・児童・生徒の視機能を適切に評価し、児童一人ひとりの発達や認知特性に応じた視覚的な支援を行うことは、障害のある幼児・児童・生徒にとって分かりやすい学習環境であるだけでなく、どの子にとっても分かりやすい、学びやすい学習環境になることが期待できます。「見る」ことを大切にされた支援のあり方を考え、どの子にとってもわかりやすい授業づくりやクラスづくりを目指していきましょう。



2015年に訪問したケニアの特別支援学校（左から盲学校・ろう学校・肢体不自由特別支援学校・知的障害特別支援学校）